

大好きな趣味とともに暮らし続けたい

～ ご主人のサポートを受け自宅で楽しく過ごされる大渡さん～

はるかぜ訪問看護ステーション



大渡 馨子さんは春日クリニックをかかりつけとし、訪問看護、デイサービスを利用し在宅生活を続けておられます。琴、三味線、刺繍、カラオケなどいろいろなことを楽しんでいる多趣味な大渡さん。どれも趣味の域を超えて本格的に取り組んでこられたとのことで、琴は大師範という超一流の資格をお持ちです。ご主人のサポートを受け、自宅で自分らしく療養されている大渡さん取材しました。（はるかぜ訪問看護 田中）

デザイナーだったお母様の影響で、若い頃から芸術的なことに触れることの多かった馨子さん。大渡さんのお宅に何うと刺繍で作られた絵や、屏風、琴などの楽器がたくさん飾ってあります。作品はどれも素晴らしく、いつも感激し見入ってしまいます。また琴、三味線を弾いて下さるときは素敵な音色にうっとりしてしまいます。

大渡さんは、熊本地震で家具の下敷きになり、要介護状態となりました。しばらくは体調が思わしくなく、好きなことも楽しめない状況でしたが、24時間対応のはるかぜ訪問看護のサービスを受けながら療養生活を続け、現在は好きな趣味を楽しまれるまでお元気になりました。

訪問すると必ず側にはご主人が付き添っておられ、献身的なサポートには頭が下がります。今回それぞれに思いを語って下さったのでご紹介します。



馨子へ

春日クリニックには10数年来夫婦共々お世話になっております。調子が悪ければすぐに診てもらい訪問看護では気軽に妻のことを相談したりご指導いただき感謝しております。

結婚以来約50年間仕事人間として過ごしてきました。転勤、単身赴任を繰り返し妻には大変苦勞をかけました。

熊本は東京からの転勤先でしたが、熊本の人々の温かい人情に触れ終の棲家となりました。退職後は悠々自適を決め込むつもりでしたが妻の病気のため、私が元気の間は家事全般を引き受けて恩返しをしていくつもりです。頑張りますのでこれからもよろしく。

二郎さんへ

どんな状況になっても私のことをよろしくお願いします。体に気を付けていつまでも元気でいてください。皆さんにはこれからもお世話になるつもりです。ご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますがよろしくお願いします。

大渡さんは自分で趣味を楽しみながら、地域や子供たちのためにも活動したいと願っておられます。思いを叶えるお手伝いもさせていただきたいです。

はるかぜ訪問看護ステーションは24時間、365日自宅で安心して療養生活を送るためのサポートを行っています。訪問看護に興味のある方は、主治医やケアマネージャーにお気軽にご相談下さい。

